

4. 出産前後の家計管理方法の変化——進む家計の共同化

結婚を経ても二人で共同の家計にすぐ移行するわけではないとしたら、家計の共同化が進むきっかけは何があるだろうか。ここでは、2008年調査までのデータをもとに、第1子の出産前後で家計管理の方法がどう変化しているのか調べてみた。

図表4-1は、出産前の家計管理方法ごとに、出産後の家計管理方法のうち、割合が多い上位3タイプをまとめている。これをみると、出産後になると、「委任タイプ」・「一体タイプ」という、収入の全てを「共通の財布」に繰り入れるという点でより共同性の強い家計管理方法を選ぶ割合が、多くのタイプで上位を占めていることがわかる。結婚直後は、(共通の財布とは別に)夫婦それぞれが自らの財布を管理するタイプが少なくなかったが、出産を経ると、「共通の財布」の存在感の大きいタイプに移行していくことが確認された。

なお、(共通の財布がないという意味で)二人の家計の独立性が最も高かった「支出分担タイプ」の場合、「委任タイプ」・「一体タイプ」といった共同性が強いタイプへの移行は顕著ではないようにみえる。しかしこのタイプでも、出産を経ても同じ「支出分担タイプ」を続けているケースは35.3%にすぎず、それを除く64.7%は何らかの形で「共通の財布」を持つ諸タイプに移行しており、やはり家計の共同化が進展していることがうかがえる。

以上のように、カップルに子どもが生まれると、「共通の財布」の存在感が大きくなり、家計の共同化が進む傾向が確認された。

図表4-1 出産前後の家計管理方法の変化

| 出産前の家計管理方法 | | 出産後の家計管理方法 | | | 世帯数 |
|------------|---------|----------------------|-----------------|---------------------|-----|
| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 | |
| 片働き型 | 手当タイプ | 手当 (72.5%) | 委任 (25.0%) | 支出分担 (2.5%) | 40 |
| | 委任タイプ | 委任 (87.2%) | 手当 (7.5%) | 一体・扶養・夫管理 (1.5%) | 133 |
| 共働き型 | 一体タイプ | 委任 (65.6%) | 一体 (18.9%) | 手当・扶養 (5.6%) | 90 |
| | 扶養タイプ | 委任 (67.3%) | 手当 (14.3%) | 扶養 (10.2%) | 49 |
| | 拠出タイプ | 手当 (38.2%) | 拠出 (23.5%) | 委任 (20.6%) | 34 |
| | 支出分担タイプ | 手当 (41.2%) | 支出分担 (35.3%) | 扶養 (11.8%) | 17 |
| | 夫管理タイプ | 一体・委任・夫管理 (25.0%) | — | — | 24 |

*出産前の家計管理方法が「その他」「無回答」などの16ケースは略した